

調布教会 教会学校 週報

2025年度 みことば

「 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。 」
ヨハネによる福音書 3章16節aより



きょうかいがっこういはい
教会学校礼拝プログラム

2026年 2月1日

前奏
*賛美
お祈り

聖書
交説詩編

説教

暗唱聖句

默想タイム
*賛美
献金と感謝のお祈り

お知らせ

*賛美
*祝福
後奏

「ぼくの心の中が」

天の父なる神様、今朝も礼拝をおさげ出来ますことを感謝いたします。わたしたちはイエスさまがふたたび来られて本当に平和な世界が来ることを待ち望んでいます。自分の中にある不安や怒りを差し出して、あなたを信頼して歩む者とさせてください。
このお祈りをイエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン

ヨハネの黙示録 1章 12～16節 (p 440)

交説詩編 (3) 詩編 19より p. 201

「主よ、来てください」

ローマ皇帝ドミティアヌス帝は、自分こそが神であると言いました。イエスさまを信じるクリスチヤンたちは皇帝に従わなかつたので迫害を受けました。ヨハネも捕らえられて島流しにされ、パトモス島という島に一人でいました。ある日、ヨハネは自分に語りかける声を聞きました。振り向くとイエスさまがおられたのです。イエスさまの姿は、かつて弟子たちが一緒に過ごしたイエスさまとは全く違っていました。髪の毛は雪のように白く、目は燃え上がる炎、口からは剣が突き出て、顔は強く照り輝く太陽のようでした。ヨハネはその姿を見て恐ろしさのあまり倒れてしまします。イエスさまは平和な世界を造るために再び来られたのです。ヨハネに「恐れてはならない」と語られるのです。

ひとたび死んだが、見よ、世々限りなく生きており、死と陰府の鍵を持っている。

ヨハネの黙示録 1章 18節 b

「新しい天と地を見たとき」 (21-580)

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を來たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救いいたしましたまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

- 今日は2月のお誕生会です。みんなでお祝いしましょう。
- 教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。

36 今までかけよう

八木浩史牧師

＜せいしょ＞

せいしょかしょ せいしきょうかい きょうどうやく
聖書箇所 「聖書協会 共同訳」

もくしろく しょう せつ
ヨハネの默示録1章 12～16節

(p 440)

12 私は、語りかける声の主を見ようと振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見え、
13 燭台の間には人の子のような方がおり、足元まで届く衣を着て、胸には金の帶を締めていた。
14 その方の頭髪は白い羊毛に似て雪のように白く、目は燃え上がる炎、
15 足は燃えている炉から注ぎ出される青銅のようであり、声は大水のとどろきのようであった。
16 また、右手には七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が突き出て、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

＜さんび＞

ぼくのこころのなかが

1. ぼくのこころのなかが いつもあかるいように
イエスさまぼくによろこび よろこびをください

* (くりかえし)

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤうたおう
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤアーメン

2. わたしのこころのなかが いつもやさしいように
イエスさまあいのこころを あいのこころください *

3. みんなのこころのなかが いつもたのしいように
イエスさまみんなといっしょに いつもいてください *



あたしいてんとちをみたとき

1. あたらしいてんとちをみたとき
さいしょのせかいは すぎさりゆき、
あたらしいみやこ エルサレムは
はなよめのような すがたでくる。

2. てんよりみこえが ひびきわたる
「かみのたみとして うまれかわれ。
みかみはわれらと ともにいます」。
よろこべ、たのしめ、おどりあがれ。

3. かなしみのなみだ いまぬぐわれ、
なげきもしもなく ろうくもない。
ふるいものすべて すぎさりゆき、
みよ、しゅはすべてをあらたにする。

4. マラナ・タ、しゅイエスよ、おいでください。
せいなるこひつじ、あけのみょうじょう。
アルファよ、オメガよ、いのちのきよ、
つきないいすみよ、えいえんのしゅよ

